

Weekly Report

山梨中央ロータリークラブ

Rotary International District 2620
Yamanashi Chuo Rotary Club 2017-2018

会長 田中 雅貴 副会長 林 美喜枝
幹事 原田 哲 副幹事 田中 雅承
会計 笹本 哲翁 会報 小池 章治

事務所 〒409-3812 山梨県中央市乙黒158-2
(山梨ビジネスパーク(株)カルク内)

TEL 055-273-5344 URL <http://yamachuo-rc.net/>
FAX 055-273-8010 E-mail rotary@yamachuo-rc.net

【例会日】 毎週金曜日 12:30~13:30
【例会場】 (株)カルク (055-273-5344)

Rotary 



ロータリー：
変化をもたらす

2017~2018 R.I会長
イアン H.S. ライズリー
第2620地区ガバナー 松村 友吉

2017年 12月 22日 第1793回例会

本日のプログラム

卓話 国際奉仕委員会

会長挨拶

「ハブとマングース」

会長 田中 雅貴

みなさんこんにちは。さて、いよいよ今年も残り少なくなりました。忘年会シーズン真っ盛りだと思います。皆さんも各所参加されると思いますので飲みすぎ、食べ過ぎに注意してください。

引き続き沖縄のことについてお話ししたいと思います。「ハブとマングース」という言葉を聞いたことはあるかと思いますが、沖縄にはハブがいます。日本ではこれを駆除するため、1910年、インドから輸入された21匹のマングースを沖縄本島に持ち込んだのが始まりです。

昔はいろいろな施設でハブとマングースを対決させるショーがありましたが、現在は見る事ができません。さて、ハブを退治するために連れてこられたマングースですが、肝心のハブは食べずにニワトリなどの家畜や在来生物を食べてしまい、貴重な生き物・ヤンバルクイナが生息する森林地帯にまで生息範囲を広げ

てしまいました。

沖縄より深刻なのが奄美大島で、そこでは10万匹以上のハブが生息し、人間や家畜が受ける被害は沖縄以上に深刻でした。1979年頃、奄美大島のハブ対策として30頭ほどのマングースが放たれたのですが、それから自然繁殖を繰り返し、推定生息数は約1万頭、もはや島全域に広がる勢いだそうです。

現在はハブと同じくマングースも駆除対象となっています。人間の身勝手な行為により、生態系が壊れてしまったことを残念に思います。今後こういった悲劇が起きないことを祈るばかりです。

今日の会長挨拶は以上です。

幹事報告

幹事 原田 哲

1. 前回の「年次総会」はご苦勞様でした。次年度の役員の方々が決まりました。有り難うございました。
2. 松村友吉ガバナー事務所より「ガバナー一月信No.6」が届きましたので、配布致しました。
3. 米山記念奨学会より「よねやまハイライトNo.213」が届きましたので、回覧致しました。

4. 例会変更のお知らせ

☆甲府西ロータリークラブ☆

12月28日(木)は「特別休会」
2018年1月4日(木)は「年始特別休会」

☆甲府南ロータリークラブ☆

2018年1月2日(火)は「年始特別休会」
1月9日(火)の例会は「新年祈願礼会」の為 時間・会場の変更
(午前11時30分より
稲積神社で祈祷)

点 鐘：午後12時15分

会 場：「きよ春」

☆甲府東ロータリークラブ☆

2018年1月5日(金)は「年始特別休会」

前回の例会記録

第1792回 出席報告

会員数	免除	出席者	欠席者	出席率	メイクアップ	前回の修正出席率
11名	0名	8名	3名	73%	3名	100%

届出欠席者 田中 雅貴君 林 美喜枝君
小池 章治君

届出失念者 なし

出席免除者 なし

メイクアップ 田中 雅貴君 小池 章治君
田中 雅承君

ビジター なし

備考 なし

ニコニコ BOX

● 所用のため休みました。 遠藤 一郎

★ 雑記帳卓話 ★

「茶徳 -カテキンの話- (1)」

島村 忠勝 先生

お茶はまるで人のようである。お茶は、程よい温度のお湯で、程よい時間をかけていれると、まろやかで、実においしい。熱いお湯でいれると渋い。お茶はまじめである。心をこめてお茶をいれると、おいしいし、ぞんざいにいれると、お茶は応えてく

れない。お茶は人のように、いれる者の心を見透かしているようだ。急須でいれるお茶は二度と同じものはない。一期一会のお茶である。おいしいお茶にめぐり合うとうれしいし、楽しい。すがすがしい人に出会ったときのように。

私ごとで恐縮だが、今は亡き父母に毎朝手を合わせるのを日課としている。そこで、気がついたことがある。仏様にお供えするお茶が一煎目であると、夕方になっても決して濁らないのだ。(二煎目のお茶だと濁ってしまう。)お茶は清らかである。「お茶を濁す」という成句の由来の謎が解けたような気がする。お茶がなぜ濁らないかは定かでないが、カテキンのなせる業かもしれない。

ところで、カテキンをご存知だろうか。十五年前には世に知られていなかったが、今では誰でも知っていると言ってもよい。何をかくそう、カテキンを最初に世に知らしめたのは私であるが。カテキンはお茶の渋みの源である。たかが渋みとお思いかもしれないが、されど、実は健康にとってすばらしい成分なのである。

カテキンには大きく二つの効果がある。一つは抗酸化作用で、老化を防ぎ、生活習慣病を予防する効果である。もう一つは、抗微生物作用で、病原細菌を殺菌し、細菌毒素を解毒し、ウイルスの感染を予防する効果である。最近、お茶が動脈硬化を防ぐという証拠が世界的に集積されてきた。一方、抗微生物作用については臨床応用に向けての研究が進展している。ここで、私たちの仕事をすこし紹介したい。

細菌学や免疫学を研究していた医学者が、お茶に手をつけたのにはわけがあった。ちょっとした動機から、ささやかな発見をしたからだ。(続く)

次回のプログラム 1月12日(金)
新年祝賀例会 会長祝賀挨拶